

さまざまな音楽を楽しんで

グリーンコンサート



▲憧れのバイオリニスト葉加瀬太郎の曲を真剣なまなざしで演奏

さまざまな音楽で観客を魅了するグリーンコンサートが1月31日、東総文化会館小ホールで開かれました。第5回を迎えるこのコンサートは、毎年この発表会を楽しみにしている音楽愛好家など16の個人や団体が出演し、日ごろの練習や活動の成果を発表しました。

ピアノやエレクトーンをはじめ、フルートやサクソホン、ギターやバイオリン、二胡、そして声楽。さまざまな音色が会場を包み込むたび、大きな拍手が沸き起こっていました。

気合十分！一中卓球女子全国大会へ

「全国中学校選抜卓球大会」「関東中学校選抜卓球大会」



▲全国出場を決めた一中女子卓球部（敬称略）

前列左から高根実菜加（1年・萬力）、六戸菜津子（1年・神宮寺）、遠藤瑞季（1年・椎名内）、後列左から宮内菜々美（1年・十日市場岡）、西野美里（2年・仁玉）、加瀬涼華（2年・仁玉）、林めぐみ（2年・鎌数）

一中女子卓球部が12月12日に成田市フィットネスアリーナで開催された、千葉県中学校新人体育大会卓球の部で見事団体優勝を果たし、3月27日、28日に山梨県で開催される、全国中学校選抜卓球大会へ出場することになりました。また同時に、3月20日から栃木県で開催される関東中学校選抜卓球大会へも県代表としての招待が決まり、二つの大きな大会を前に生徒たちも気合十分でした。

環境への感心マジックで

旭市環境衛生大会

旭市環境衛生大会が2月4日、東総文化会館小ホールで行われ、日ごろ地域の環境美化に尽力した4人と3団体に功労賞が贈られました。また、環境美化啓発ポスターコンクールで優秀作品を描いた18人の小中学生も表彰され、環境美化への啓発が行われました。

表彰の後行われた講演では、環境省の認定を受け、各地で科学を利用したマジックパフォーマンスを行っている「らんま先生」を講師に、地球環境などについて楽しそうに学んでいました。普段は主に、子どもたちを相手に環境学習を行っているというらんま先生は「パフォーマンスをするコミュニケーションの中で、環境問題についての何かを感じて欲しいんです」と真剣なまなざしで訴え掛けていました。



▲網上のカップの水が下にこぼれ落ちないという液体の表面張力を利用したマジックパフォーマンス

伝え継がれる舞いを奉納

後草地域の鎮守である水神社で2月7日、境内に設けられた神楽殿で、豊作や家内安全などを祈願する永代大御神楽が奉納されました。県無形民俗文化財に指定されているこの神楽は、12座の演目と稚児舞いで構成されており、昔がしのばれる衣装をまとっての舞いは時には優雅に、時には力強く舞われ、訪れた人たちはその姿に見入っていました。



▲夕日を浴び、厳かに舞われる神楽

伸 び伸びとした筆勢

旭市子ども会書初め展

市内33団体の子ども会から出品された書き初めが、1月24日から30日まで、市民会館に展示されました。439点の力作を見ようと、家族連れなど多くの人が会場を訪れました。作品を見に来た親子は、各学年の特別賞が飾られた掛け軸の前で立ち止まり「上手だね」と話していました。31日には、特別賞などの表彰が行われ、受賞した子どもたちは、少し緊張した面持ちで賞状を受け取っていました。受賞者は次のとおりです。※敬称略
市長賞（6年）／宮員和夏（松沢子ども会）、市議会議員賞（5年）／日下夏綺（岩井子ども会）、旭市教育長賞（4年）／加瀬祥吾（後草子ども会）、旭市文化協会賞（3年）／石毛裕貴（中二区子ども会）、旭市青少年相談員会長賞（2年）／飯島向日葵（新田子ども会）、旭市子ども会会長賞（1年）／平野智也（神宮寺岡子ども会）



▲自分の作品や友達の前を見てくる来場者

寒 さを吹き飛ばし元気にプレー

第2回旭市福祉協会理事長杯争奪パークゴルフ大会



▲「入れ！」思わず声が出る

親睦を深め健康づくりを推進するとともに、市内のパークゴルフの普及を図ることを目的としたパークゴルフ大会が1月30日、あさひパークゴルフ場で行われました。開会式では、理事長から「順位にこだわらず、楽しく頑張らしましょう」というあいさつの後、選手たち155人は40組に分かれ、笑顔で楽しみながらプレーをしていました。大会は14人の選手がホールインワンを出すなど好プレーが続出、試合を盛り上げました。成績は次のとおりです。※敬称略

<男性の部>

優勝／高木利治（関戸）※総合優勝、2位／小久保文雄（清和甲）、3位／荻窪重弘（ハ）

<女性の部>

優勝／石坂久子（飯岡）、2位／高橋美津子（新町）、3位／椎名登美子（蛇園）※優勝はプレーオフで決定

剣 士たちの気迫に満ちた試合

第13回旭タッチヤング剣道大会

剣道を通じて青少年の健全な育成を行い、心身の練磨と相互の親睦を図ることを目的として、タッチヤング剣道大会が2月13日、総合体育館メインアリーナで行われました。小学生から高校生まで、市内外から480人が参加した大会には、全国優勝の実績があるチームも出場していました。会場は、客席に掛けられた応援の垂れ幕や、観客の声援で熱気を帯び、選手たちは気迫に満ちた試合を繰り広げました。



▶気合いの声を上げ打ち込んだ剣士、竹刀の音が鳴り響く

2 年ぶり2回目の優勝

匝瑳市長杯争奪匝陸ミニバスケットボール大会



▲優勝した干潟小男子チーム

1月10日、11日、23日、匝瑳市八日市場ドームと野栄アリーナを会場に、男子18チーム、女子22チームが参加して、ミニバスケットボール大会が開催されました。男子決勝は接戦の末、干潟小が常磐小（多古町）を破り優勝しました。また女子では、萬歳小が3位入賞と健闘しました。なお、市内から最優秀選手賞に高橋寛尚さん（干潟小・6年）、戸村直暉さん（干潟小・6年）、藤ヶ崎朱音さん（萬歳小・6年）が選ばれました。